

# キセノンフラッシュランプ光源

## XFM050 シリーズ ファイバアダプタ タイプ

### 1. 特長

本モジュールは、キセノンフラッシュランプ光源に SMA-905形ファイバアダプタを設けたもので、分析装置用光源として、自由度の高い組込みが可能になります。

- 光出力が高安定で分析用に最適です。  
放電エネルギーは5Wと強力です。
- キセノンフラッシュランプは長寿命です。
- 放射スペクトルは紫外線から赤外線まで広範囲です。
- 低発熱のため連続運転が可能で、静音です。
- ファイバアダプタなしのタイプも用意しております。



XFM050-2  
サイドオンタイプ



XFM050-3  
ヘッドオンタイプ

### 2. 仕様

光ファイバにつきましては、弊社にお問い合わせください。

項目		数値
出力	アークサイズ	1.5mm
	面板材質	UV ガラス
	光出力波長範囲	185~2000nm
	光出力安定性	Max. 2.0% <sup>1)</sup>
	保証放電回数	10億回
	最大平均ランプ入力	連続 5W <sup>2)</sup>
	放電コンデンサ容量	0.047/0.11/0.22/0.28 $\mu$ F <sup>3)</sup>
	主放電電圧可変範囲	400V~600V <sup>4)</sup>
入力	入力DC電圧	Min. 11V~Max. 28V
	入力電流実効値	11V: Max. 1.4A
	トリガ入力	5V(約 10mA), 10 $\mu$ sec 以上
	トリガ極性	Lo⇒Hiレベルでトリガ開始
	ランプ発光周波数	Max. 530Hz
	トリガ入力抵抗	390 $\Omega$
冷却方法	自然空冷 <sup>5)</sup>	
動作周囲温度	0~40°C	
保存温度	-40~90°C	
動作時・保存時湿度	Max. 95%Rh (結露なきこと)	
質量	270g/XFM050-2    330g/XFM050-3	

1) 光出力安定性の計算式は、下記になります。

$$\text{光出力安定性(\%)} = 100 \times (\text{光出力標準偏差} / \text{平均光出力})$$

2) 最大平均ランプ入力は、1発光あたり最大ランプ入力エネルギーとランプ発光周波数の積となります。

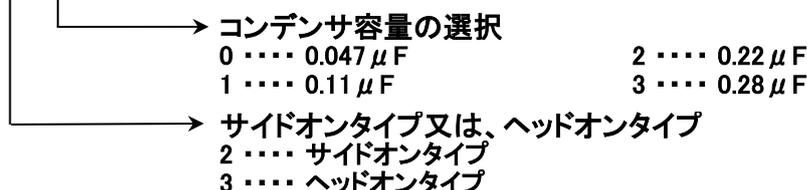
3) 形式を選択して、一つの放電コンデンサ容量を選べます。

4) 本体の可変トリマで調整、または外部からのレベル信号入力3.2V~4.8Vにて可変できます。

5) 筐体の温度が50°Cを超える場合は、冷却が必要です。

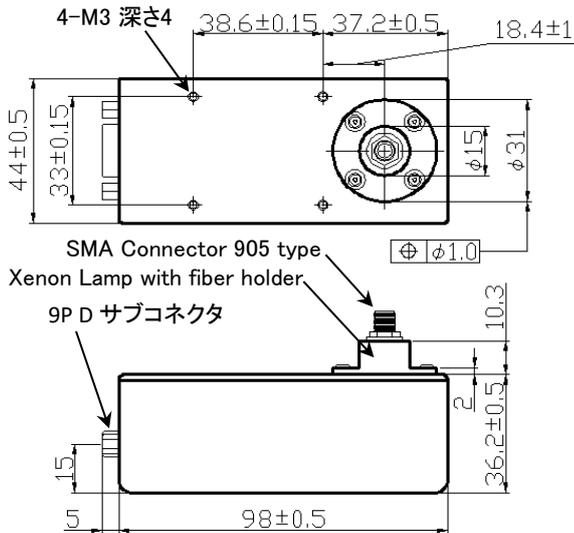
### 3. 形式選択ガイド

XFM050-□0□

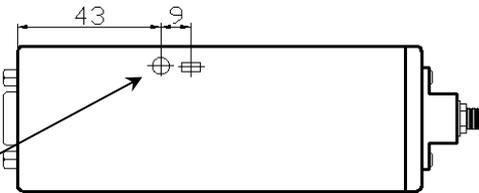
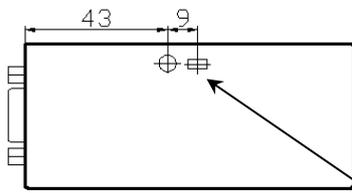
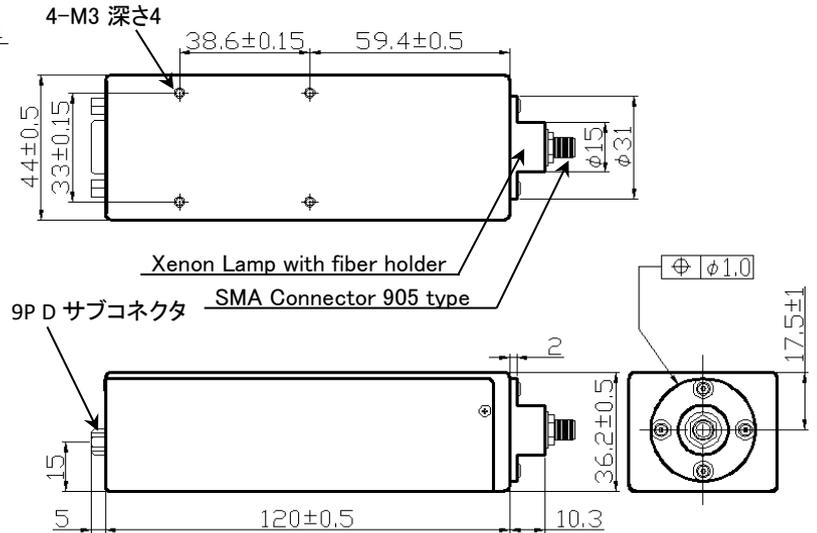


#### 4. 外形寸法

##### <サイドオンタイプ XFM050-20>



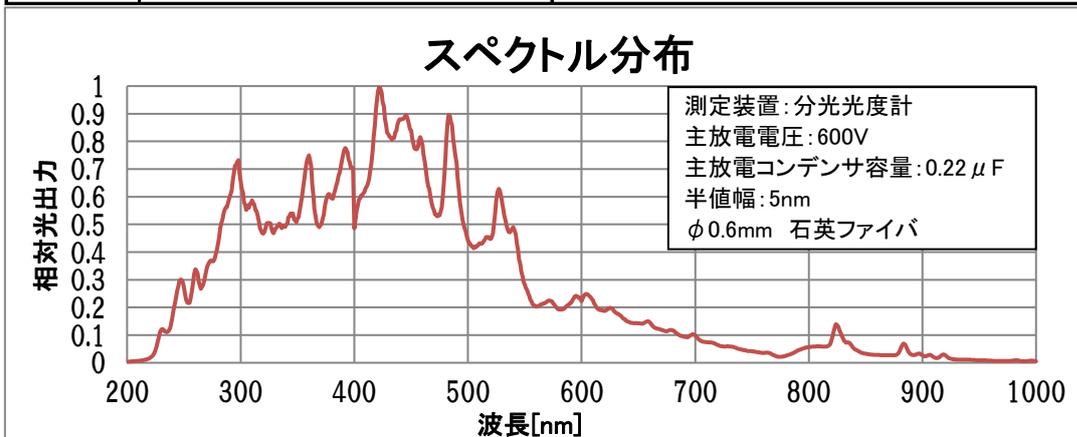
##### <ヘッドオンタイプ XFM050-30>



主放電電圧 可変トリマ(左)と  
主放電電圧 内部/外部切り替えスイッチ(右)

##### 9P D サブコネクタのピン配置

No.	機能	No.	機能
1	直流電源入力 11V~28V	6	直流電源入力の GND
2	直流電源入力 11V~28V	7	直流電源入力の GND
3	主放電電圧調節入力 3.2V~4.8V	8	主放電電圧調節入力の GND
4	外部トリガ信号の GND	9	接続なし(NC)
5	外部トリガ信号		



●本資料の記載内容は平成28年1月現在のものです。仕様は、改良等のため予告なく変更することがあります。